

クオール薬局に来局の患者さまへ

当薬局では、患者さまに提供する医療の質の向上を目的として、薬局における医療情報や調査情報を活用した研究を実施しております。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆さま方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究結果を論文等で発表する場合は、個人情報漏洩するようなことは一切ございません。また、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる情報は削除し匿名化した上で情報を利用いたします。

本掲示について御不明な点がある方や、この研究への参加を希望されない場合は

下記の問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<u>研究課題名</u>	保険薬局のインフルエンザ患者を対象としたパロキサビルとノイラミニダーゼ阻害薬の自覚症状軽快割合の比較
<u>研究責任者</u>	クオールアカデミー・教育研修部 統括主任 高橋 渉
<u>他の研究機関および各施設の研究責任者</u>	塩野義製薬株式会社
<u>本研究の目的</u>	新規抗インフルエンザ薬のパロキサビルと他の抗インフルエンザ薬の有効性を比較する
<u>調査データ該当期間</u>	2018年11月1日から2020年2月28日
<u>研究の方法（対象となる方）</u>	クオール株式会社内の薬局にて抗インフルエンザ薬（タミフル、オセルタミビル、リレンザ、イナビル、ゾフルーザ）を調剤された患者さまで薬剤師より電話によるフォローアップを受けた患者さま
<u>研究の方法（使用する情報）</u>	電話でのフォローアップの際のインフルエンザ症状の軽快割合をパロキサビルと他の抗インフルエンザ薬とで比較検討を行う。
<u>情報の他機関への提供</u>	統計解析はクオールグループのアポプラスステーションが担当します。
<u>個人情報の取り扱い</u>	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は論文等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
<u>本研究の資金源（利益相反）</u>	本研究は塩野義製薬株式会社が研究資金を負担し実施しています。塩野義製薬は研究計画書の作成、統計解析計画の立案、研究結果の解釈には関与しますが、情報抽出のための研究データへのアクセス権はもちません。研究者は、本研究の計画、結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反の状況について利益相反委員会の審査を受け適切に管理されています。
<u>お問い合わせ先</u>	クオールアカデミー・教育研修部 電話：03-6430-9058